

報道関係者 各位

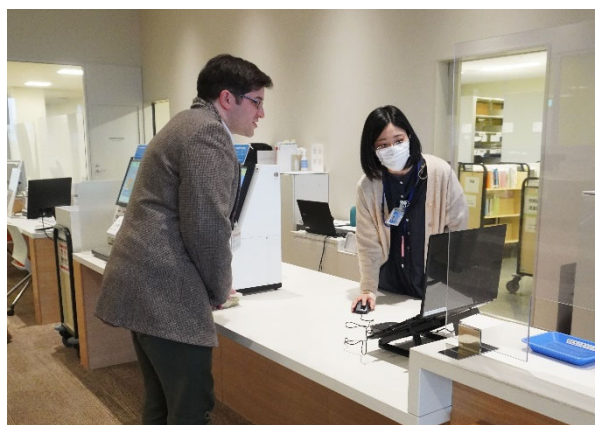
2024. 5. 14
<配信枚数1枚>

言葉の壁を越えてお互いの意見や考えを伝えあえる社会の実現へ
ChatGPT と音声認識を組み合わせた多言語に対応する会話促進ツールを開発
立命館大学図書館や茨木商工会議所に設置

立命館大学は、このたび、大阪いばらきキャンパス(OIC)に、OpenAI 社の人工知能チャットボット「ChatGPT」と音声認識の仕組みを組み合わせた翻訳ツール「BloomTalk」を導入しました。「BloomTalk」は、OIC 内に立地する茨木商工会議所にも設置されました。



【BloomTalk をインストールしたPC】



【利用の様子(図書館)】

BloomTalk は、言語の壁を AI の力を借りて乗り越え、会話を自由に楽しむことを目的に、立命館大学大学院の杉山滉平さんが開発しました。日本語、英語のみならず、それぞれの母国語(想定 50 カ国以上)で話した内容を ChatGPT の言語変換機能を利用し、日本語と英語に同時変換できる機能を有しています。この機能により、日本語、英語等の習熟度等に関わらず、お互いが円滑なコミュニケーションができ、言語で伝えづらい細かな内容も各人の母国語で伝えられるため、「言葉の壁を越えてよりよく、より深く会話を楽しめる」ことを想定しています。

2024 年 1 月より、OIC 内の図書館で試験的に設置し、主に留学生の相談対応に活用してきました。図書館では利用者からの質問に対して、正確な説明を利用者に返答する必要がありますが、BloomTalk によりサービスの質が向上しました。試験運用を経て、このたび本格的な運用開始となりました。

今後は他キャンパスの図書館、留学生と接点を持つ各部署をはじめ、自治体の外国籍対応窓口など学外にも実証実験の場を広げていく予定です。言葉の壁を越えてお互いの意見や考えを伝えあえる社会への寄与を進めていきます。

本リリースの配布先： 大阪科学・大学記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和

TEL.075-813-8300 Email.r-koho@st.ritsumeai.ac.jp